

もっと、 こども まんなか

education column

いま、学校教育を取り巻く環境は、大きく変わってきています。こどもたちの未来のため、教育 DX の推進や不登校児童生徒への支援、部活動の地域移行、官民一体型学校など、武雄のこれからの教育について、一緒に考えてみませんか？



VOL.05

「こどもまんなか」の授業 学び方もペースも、自分で選んで自分で決める

授業の様子はどう変わった？

黒板いっぱいにチョークで書かれた文字を、こどもたちがノートに書き写す。クラス全員が一斉に同じ問題を同じ方法で解く。こういった従来の先生主導の授業が、大きく変わりつつあります。教育 DX※によって変わった授業の一場面を紹介します。

〈小学 5 年生の国語科〉

「朗読によって物語の場面をとらえる」一人一人のめあてに沿って、朗読の練習をタブレットに録画する。Canva というアプリを使って音声データを友達と先生に共有し、アドバイスや感想を伝え合う。

〈小学 2 年生の生活科〉

「捕まえた昆虫について調べる」図書館の昆虫図鑑や、タブレットで Web ずかん、NHK for School（動画教材）などを使い、一人一人のスタイルで調べる。先生は学びが深まるような的確なアドバイスで支援する。

自分が決めためあてに向かって、自分のペースで学習を進める。教育 DX によって「こどもまんなか」の授業が可能になりました。

※教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術（AI や ICT など）を活用して学習のあり方や先生方の業務などを革新し、時代に対応した教育を確立すること

急激に変化する時代の中で育むべき力とは

生成 AI の技術進歩は、社会のほぼ全ての仕事に対して影響をもたらすと言われています。自動化や効率化が進む中で、新たな職業が生まれ、こどもたちの未来を予測できない時代です。

このような時代において求められているのが、次のような「見えない学力（非認知能力）」です。

- ・自分の頭で考えて表現する力
- ・課題を見つけて解決しようとする力
- ・協働して新しい解を生み出す力

教育 DX は、このような「見えない学力」の育成に欠かせないものです。デジタル技術を活用することで、こどもたち一人一人のニーズに合わせた学習が可能となり、学びへの意欲や関心を高められます。テストの点数には直接反映されない「見えない学力」が土台となり、知識の習得などの「見える学力」も自ずと向上すると考えられます。

さらに求められる先生の指導力

教育の変化にともない、先生の指導力が、ますます重要になっています。教科書の内容を超えた、深い学びを促すため、先生は「教材のもつ可能性」を常に模索し続け、こどもたち各々の特性に応じたきめ細かな指導につなげていく必要があります。武雄市では、全ての小・中学校が一体となって教育 DX を活用した「こどもまんなか」の教育に取り組んでいます。先生同士が協力して授業力の向上に努めることで、未来を生き抜く力をもったこどもたちの育成を目指しています。



武雄市教育委員会
新しい学校づくり教育監 林 正昭